

子どもたちを見通して 今、子育てで大切にしてほしいこと
—— 人のぬきもりに子れ 生まれてきてよかったと——
土 次 いく子 (元小坂校 教師)

- ① 保育士や及ぶらの身体に子れる 「ミミミミミ」
- ② 保育士の表情がわからない 言葉と発する口の形も口の表情もわからない
- ③ 早く帰りたい 授業途中に出ていく「年生」
「お母さんが 死んでしまう」 親の不子感・孤獨感・虐待
授業中、あはれる → どうしてそんなことするの?
休みの時、友だちと逃げたいかんかったのよ やっと学校
来たから 勉強はふりやん!
- ④ 「どうせアホやもん」 (自分の、あこら感)
- ⑤ 「ほくはんの生まれてこんかたからよめったんや」 (自己否定感)

※日本の子どもの自己否定感の強さ「ダントツ」

- ① 臭いが嫌い、人が信じられない (臭わない、目も合わない抱かれたい)
- ② 増える子どものうつ、死にたい、不登校 (大学生のSOS)
- ③ それでも子どもは 明日に向かて 生きたい! (入籍め)

—— 子どもの元気をもらおう (首押) NO2 NO3

教育とは、保育とは何だ? 原点が内われている今

ついイライラ、焦る。子どもが言うことを聞かない。子育てもうじいじい

仕事とのけがまを、気持ちいが切れる。

つい手が出て、落ち込む。母親失格や。(保育士に人が言われると
カーッと返って 自信失くす)

みんなこんは
悩み抱えてる

大切なことは、みんなは無い

「おんじいちは人作て 抱てて抱ててやりのこと」

改めて 立ち止まって 学びたい 四つのこと ——

すぐ泣く (夜泣き)

ぐずぐずする

言うこときかない

たにく、べんへたする

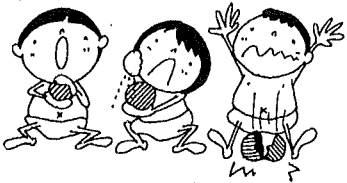
チック発汗 寝小便

困る 服を
何何何 焦る
うの子 逃れる?!

実は 困る
子どもが

何に困っているのか

このナゾ解き、こ
子育て 楽にはな
大切な ヒケツ



子どもは、いつもどんなときも
自分を表現している。

泣くことも かわいさも
くまることも みんな 表現
(SOSの
わがいの)

子どもの権利条約

「子どもの意見表明権」(エンブレッドマント条約)
「Opinion, Beliefs, Views」

「子どもは、言語化されない身より、表情(おどろ、
身体表現のさまざまな) (非言語的コミュニケーション)

「子どもは、意見表明したと

「ここから、子どもの心の声を聴く」とることが
今ほど大切なことではない

「心のわがや」として子どもを育てることに

子どもが悲鳴をあげている



- ① 焦らしさせている。怒り、人と比べて
- ② 能力主義(できる、できない、もっともっと) 高期待
- ③ まらぐに学力観で追いついてくれない (資料 6, 7)
- ④ 「オナシ」英語習わせはいいとイヤませんか
- ⑤ 何才だったから「こつある(べ)」
- ⑥ 「一人ひとり」子の「育ちは、違うのに」一つの
ものさしを見てしまう
- ⑦ 育ちには、根拠があるの(先へ大人
早くから文字を「進んだらダメとせつらん死の事件
あんなことができないとせつらん



何に困っているかのナツ解きをして、子どもによりきつ

子ども理解

「ところが、このナツがなかなか解けない!」なぜか?

① 親も保育士も多忙 なのに、こんなにかわいいのが
忙しいとゆらり子どもが見えない

① 「よい子」を褒めさせるとSOSが見えなくなる — 見える時は、爆笑!
子どもが「おどろ」でも受け止めてくれない。抱っこ、保育士が「かわい!

子どもは、自分の感情を押しこめ殺す。

ガマンする。よい子を褒める (大人の褒めとみる子)

「失敗がかわい
ほんとうの自分を出せない」

「おどろ」や 爆笑!! (自分と傷つける、他者と傷つける)

心の声が
聴けるには

ほんで二人は困った
ことするのかわ
はんでかひめ？
一人は見えにくい
犬好、祖母と
保育士と抱で(保護者)
抱か子育て仲間と
子育ての先輩に

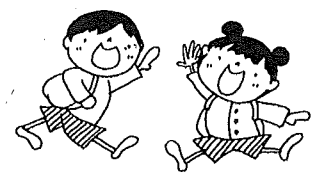
入らうち孤立状態の
子育てはならない
「こつう人間関係と作て
いくことが大切」
子育てベテラ ↓ 親の責めと
自分を責めない...
困たらカ借と
叩いてと!

②

この時代のネック、人間関係 (子育てで「層困難を抱えている」)
— 人づき合いができなくなる子に —

安心の子とこうに抱かれ
人にまされ
やさしくされ
心とあだたあてもらた子は

他者とかかわれる
つづかれる



バックホーン

大人たちの不安 (お金、人間関係、将来のこと、平報) とバックに
若者
孤独感・人間不信、自殺者の増加、地域では一人ぼっちの老人、孤独死
子どものうち若者たちのいじめ、不登校、ひきこもり
ひきこもり (15才以降の若者、40才以降の若者)
不正規採用、不安定、デジタル社会への危険

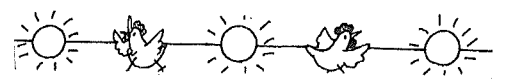
人海がバラバラに
SNSで急ススピードなデジタル化
(とんぼにメールしても人は対面を合わないとつづかれる)

親や保育士が
やさしくされる

保育士の働きかけの悪さ改善、保護士おやす
(抱の働く者への改善)

・ 学びことでやさしくと自分刻む
・ 保育士同士、このつなごり
・ 抱同士、ゆにわける
・ 保護士と抱、責め合わない
・ 大人の人間関係

子ども
やさしくされる



デジタル社会の
キケン

今気にしている
子どもの言葉

。ことばが届かない
目を見ても
ことばも届かない
。思い 傷をたいこと
ことばにならぬ
。情報化社会ゲームで
とびのりことば
。体腔の衰えかけのない
感情とも届かない
ことばの横手

くことばが作交う人間関係とベースに

ことばの力とは
。ことばで思考する。考える力
。自分を表現する
。コミュニケーションする
。人間らしい感情も(認識も)わがものにする
。自己エントロールする
。自分を解放させてくれる
。音の力
自己解放

言葉が育つために大切にしてほしいことは何か

- ① ほほえみかける。たましもある。互いの関係がないと、生かす言葉は行かない。
 - ② そうか痛めたね、かうそれが嬉しかったのね、「これがほほえみの、子どもの思い、ね、さうさ」とついで、大人が「ことばに返さる」
 - ③ お話するようになってはると...聴く、聴く聴く。
- 。きこえるつもりで閉めていながら
。ほほえみ、こころをこころと、言葉をとる

③

言葉の力は、本物の学力と人間形成の鍵

早く本が読めたり、字が書けたり、おしゃべりの上手な子どもにしまじろう



どうしたら

「あなは、どんなどまに、父さんや、母さんや、ほめてえん、うちの、子や孫であう、良かったと思つたか？」
(アンケート資料) 100

早いところから習いごと、スポーツ、スポーツ、しつけもまじり、
解くものは、なんでも買ってきてやり、
。ランドに、連れて行く
。おは、必死で物、そのお金は、全部、
子どもの教育に

なのには...



愛をいけるとは、
感じたいという
子どもたち

親の愛情は届いていないだろうか
—— 愛情とは、遠くまで届いていないことではないのか

・本気で聞かない。「あとで」

・目を見て聞かない

・「うちの子話しません」話せないようにしようとする

こわい。叱れどついで、イライラしてる

共感してこれない。(泣いたらナクナク、イタイと言ってもイタナイ!)
 視覚的がしゃべる、
 ママ今自分はことあると自分で自分を語ってない

話を心から聴いてもらた子

他人のことばに身も心も使わぬ

人の気もちがわかる子に (今何様?)
 人の話に共感する、
 コミュニケーションが上手

② 子どものことばは宝物

言葉を捨てて書きとめる

「ほくのほめたてとこいつだ?」
 「かみんのかみ みどりのかみね」
 「かみさんに おねがい」
 「もつひとりの花のまつね」
 「まつ子まつねでほしい」
 「さびしさを」
 「かみとも見れば」
 「美顔する」
 「先生の髪に」
 「さくら 咲いてる」

子どもの言葉こそ

おもしろいよ

楽しいよ

思える

大人の感情

言葉への関心

子どもの言葉も

大切な宝物

③ おはなしのある絵——絵も大切な子どもの表現

——上手 下手でけして見ない——

絵の中にあるお話をかいてもらって保育者はメモしていく

おはなしのいろいろ「お天候と大切」 上手 下手に

④ 大人は子どもとどんな言葉をかきつけているか

・いつつたりも——はたり 不ふはたり 自分をライと思わせる言葉と

かきつけているか、やり取りたい

・ほと——たり 物事あれだけの、やてくはて 元氣にされる言葉かけと

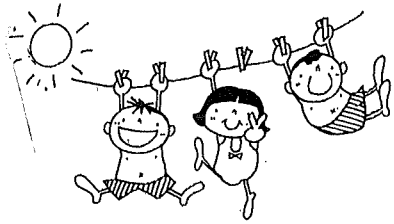
——大人の言葉は、大切な言葉表現

⑤ 本の楽しさ、言葉の面白さ、書きとめと掛け合い

字を量にさせるために読まない。キライにさせる

「お母さん 本読んで」先生 本読んで、は、ニブール

早く読めよとイライラしながら義務感で読んでも面白くない、苦痛





子どもは、豊かな自然と文化の中で育つ
(ヒトは文化を会って人になる)

(遊び)

コナパニデミック 地球ハカイ
デジタル社会 自然ハカイ
環境内訳
上や虫がえちるやうな子
遊ぶは子 「ふからおいてるの株を
消滅文化にすり回される今
手作り文化は、めんどろせー!
食生活のあり方、健康、体力

＜子どもの権利条約引条＞

年令に適した遊び及びレクリエーションの活動を行い、並びに文化的な生活及び芸術に自由に参加する権利を認められる。



① 遊びは、子どもの成長発達へのネットワーク

身体をつかさどる仲間と、言葉とかわりながら

② 自然とかわりながら生きる

「あつ空がまっ青や」「こんねとこころの花咲きする」
土や水にふれる
身体をつかさどる仲間やハイキング
レジャーランドより
自然の仲間へ、
五感を働かせ

③ 命あるものとかかわりながら生きる

生えるものの世話、植物を育てる (花をみること)

④ 園で捨てる↓物をつくる文化、手を収めて

(作る側)

⑤ 本物の文化にふれる機会も

本物の浴や、音楽、スポーツ、本との出会い
好奇心、感動を言ふ機会

⑥ 食文化にもふれたい

バックのまま↓お四に盛る

⑦ 地域にある文化にふれる機会も

おのちのことは徳島の蒸籠
藍の染めもの、人形浄瑠璃
大谷の焼のき物
まじりの清純
土手の手紙
わか家には、古い電話の
あすま、
(大衆)



NO. 6

⑧ 言葉の文化
これからは、今の私を支えて
くつぎの文化
⑨ 西洋と

